



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社 エンチャー
コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 秀男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,487	4.6	15	90.9	45		43	
2023年3月期第2四半期	18,321	3.2	165	64.3	68	82.3	198	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 61百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 239百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	6.36	
2023年3月期第2四半期	29.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	36,486	9,447	25.9	1,381.59
2023年3月期	36,726	9,419	25.6	1,377.59

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,447百万円 2023年3月期 9,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		5.00	15.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,330	4.8	120	49.7	60		100		14.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,857,497 株	2023年3月期	6,857,497 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	19,669 株	2023年3月期	19,619 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,837,870 株	2023年3月期2Q	6,837,928 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制の緩和によって社会経済活動は持ち直しに向かっている一方、海外経済の減速に伴う国内景気の下振れリスクや、原材料価格の高騰が及ぼす経済への影響等、先行きは不安定な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましては、業態を超えた販売競争が更に激化している中、原材料価格の高騰に起因する販売価格の上昇が個人消費の停滞に大きく影響しております。加えて物流費、光熱費、人件費等の店舗運営コストの上昇が企業収益を圧迫しており、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中で当社グループは、「共に学び 共に成長する 繋がる全ての人に幸せを創造する企業」を目指し、中期経営計画スローガンとして「3つの進化（伸化、深化、新化）で企業価値を高める」を掲げ、地域に根差した品揃えの最適化や専門店事業推進による「収益力向上」、事業間連携体制の強化や買物環境の向上による「集客力強化」、電子化やWEB化等によって業務効率化や労働環境の改善を図る「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、既存店の大型ホームセンター「ホームアシスト」の品揃え強化を目的とした全面改装を実施した他、当年度内に予定している専門店事業の出店への準備を開始しております。なお、当第2四半期連結会計期間末現在における店舗数は、前連結会計年度末現在と同数の57店舗（ホームセンター23店、ハードストック11店、ダイソー2店、ズースクエア3店、c a s a 2店、SWEN16店）であります。

販売につきましては、ホームセンター事業は、前期に引き続いてペット用品が好調に推移しましたが、外出の増加や節約志向による買い控え等、消費者行動の多様化が大きく影響した他、天候不順の影響もあり、厳しい状況で推移しました。専門店事業においては、ハードウェアショップは住設資材、塗料、建築金物等を中心として好調に推移しましたが、アウトドアショップはアウトドアブームが落ち着きを見せていることによってキャンプ用品等が減少する等、苦戦することとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,487百万円（前年同期比95.4%）となりました。利益につきましては、営業利益15百万円（同9.1%）、経常損失45百万円（前年同四半期は経常利益68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失198百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ240百万円減少し、36,486百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ200百万円減少し、13,855百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加292百万円、受取手形及び売掛金の減少65百万円、商品の減少278百万円、流動資産のその他の減少169百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、22,630百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少166百万円、有形固定資産のその他（純額）の増加43百万円、投資有価証券の増加141百万円、長期貸付金の減少45百万円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ267百万円減少し、27,038百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ908百万円増加し、18,635百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少269百万円、短期借入金の増加837百万円、流動負債のその他の増加337百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,176百万円減少し、8,403百万円となりました。これは主に長期借入金の減少1,117百万円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、9,447百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少77百万円、その他有価証券評価差額金の増加106百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、25.9%（前連結会計年度末は25.6%）となりました。

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入900百万円、投資活動による支出108百万円、財務活動による支出502百万円の結果、前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、2,122百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、900百万円（前年同期比482百万円の収入増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失45百万円、減価償却費334百万円、棚卸資産の減少額257百万円、仕入債務の減少額278百万円、営業活動のその他の収入405百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、108百万円（前年同期比65百万円の支出増）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出149百万円、投資活動のその他の収入43百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、502百万円（前年同期比140百万円の支出増）となりました。この主な要因は長短借入金の減少額289百万円、リース債務の返済による支出155百万円、配当金の支払額34百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月24日の「2024年3月期の第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正並びに2024年3月期の中間配当予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表致しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,852	2,144
受取手形及び売掛金	1,109	1,043
商品	10,507	10,229
仕掛品	7	28
貯蔵品	22	22
その他	557	387
流動資産合計	14,055	13,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,641	6,475
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	27	34
その他(純額)	762	806
有形固定資産合計	19,767	19,651
無形固定資産	85	85
投資その他の資産		
投資有価証券	706	847
長期貸付金	484	438
敷金及び保証金	1,209	1,211
退職給付に係る資産	169	169
繰延税金資産	78	71
その他	171	157
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,817	2,893
固定資産合計	22,670	22,630
資産合計	36,726	36,486
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,822	5,553
短期借入金	9,766	10,603
未払法人税等	71	75
その他	2,066	2,403
流動負債合計	17,726	18,635
固定負債		
社債	92	69
長期借入金	6,948	5,831
資産除去債務	705	708
その他	1,834	1,794
固定負債合計	9,579	8,403
負債合計	27,306	27,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,875	2,798
自己株式	△17	△17
株主資本合計	9,196	9,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	266
退職給付に係る調整累計額	62	61
その他の包括利益累計額合計	223	328
純資産合計	9,419	9,447
負債純資産合計	36,726	36,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,321	17,487
売上原価	12,934	12,333
売上総利益	5,386	5,154
営業収入	608	638
営業総利益	5,995	5,792
販売費及び一般管理費	5,829	5,777
営業利益	165	15
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	14	14
受取事務手数料	6	5
その他	3	5
営業外収益合計	29	30
営業外費用		
支払利息	58	60
シンジケートローン手数料	47	22
その他	20	8
営業外費用合計	126	91
経常利益又は経常損失(△)	68	△45
特別損失		
減損損失	59	—
店舗閉鎖損失	30	—
災害による損失	198	—
特別損失合計	288	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△220	△45
法人税、住民税及び事業税	26	25
法人税等調整額	△48	△27
法人税等合計	△21	△2
四半期純損失(△)	△198	△43
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△198	△43

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△198	△43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	106
退職給付に係る調整額	△5	△1
その他の包括利益合計	△41	105
四半期包括利益	△239	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239	61
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△220	△45
減価償却費	329	334
減損損失	59	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	0
受取利息及び受取配当金	△19	△18
支払利息	58	60
為替差損益(△は益)	△2	△2
売上債権の増減額(△は増加)	17	77
棚卸資産の増減額(△は増加)	△65	257
仕入債務の増減額(△は減少)	141	△278
未払消費税等の増減額(△は減少)	△73	165
その他	207	405
小計	431	955
利息及び配当金の受取額	14	14
利息の支払額	△57	△59
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	29	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104	△149
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△5
敷金及び保証金の回収による収入	0	2
その他	66	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	211	996
長期借入れによる収入	976	—
長期借入金の返済による支出	△1,314	△1,286
社債の償還による支出	△23	△23
リース債務の返済による支出	△143	△155
自己株式の増減額(△は増加)	—	△0
配当金の支払額	△68	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362	△502
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16	292
現金及び現金同等物の期首残高	1,806	1,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,822	2,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。